

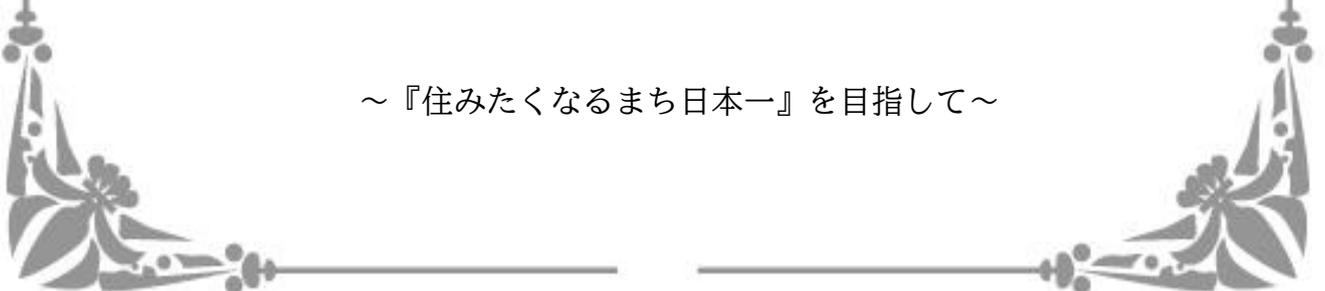
令和5年第3回富谷市議会定例会

市長挨拶

令和5年9月26日

富谷市長 若生 裕俊

～『住みたくなるまち日本一』を目指して～



## 1. はじめに

本日ここに、令和5年第3回富谷市議会定例会が開会されるにあたり、開会の挨拶に併せ、富谷市総合計画に掲げた、まちづくりの将来像「住みたくなるまち日本一」の実現に向けた現在の取組概要について、ご説明申し上げます。

議会の皆様には、日ごろより市勢発展のため、ご尽力いただいておりますことに、改めて感謝を申し上げます。

はじめに、エネルギー・食料品価格等の物価高騰への市の取組について申し上げます。

本市独自の対策として、物価高騰下における子育て世帯の経済的負担軽減を図るため、6歳までのお子さんがある保護者を対象に、子ども一人あたり1万円を支給する「富谷市子育て世帯物価高騰対策緊急支援給付金給付事業」を実施いたします。給付金の支給は、10月末から順次振り込みを行ってまいります。

また、住民税均等割非課税世帯等を対象に、一世帯あたり3万円を支給する「令和5年度住民税非課税世帯等物価高騰対策支援給付金」の申請受付を9月1日より開始し、順次振り込みを行っております。

併せて、生活者支援及び消費の下支えとして、9月1日より「とみや3割増商品券」を販売しております。今回の割増商品券事業により、物価高騰による家計への負担を緩和するとともに、地域経済の活性化に資することを期待しているところです。

次に、令和4年度決算についてご説明申し上げます。

一般会計の決算額は、歳入が183億9,066万円、歳出が163億6,040万円で、形式収支は20億3,026万円の黒字となり、形式収支から翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた実質収支は、15億4,483万円の黒字となりました。また、歳入構造における市債依存度を抑えることにより、臨時財政対策債については7年連続で、市債全体では5年連続で減少し、基金残高についても5年連続で過去最高水準を更新するなど、行政改革の成果により、黒字体質を維持しております。

各種特別会計及び公営企業会計決算においても赤字はなく、財政健全化判断比率では、早期健全化基準を大きく下回り、公営企業会計の資金不足判断比率も算定されず、令和3年度に引き続き、健全財政に努めることができました。

つきましては、本定例会の決算審査特別委員会において、改めて内容をご説明いたしますので、ご審議の程、よろしくお願いいたします。

## 2. 「基本方針－1 暮らしを自慢できるまち」について

それでは、富谷市総合計画の4つの基本方針と後期基本計画の体系に基づき、各種施策の実施状況について申し上げます。

まず、「基本方針－1 暮らしを自慢できるまち」に関する主な施策について申し上げます。

### (1) 商工業・雇用関連施策について

はじめに、商工業・雇用関連施策について申し上げます。

企業誘致については、引き続き、宮城県、関係機関と連携を図りながら、企業の投資情報など様々な動向について情報の共有に努めております。11月9日には、宮城県主催の企業立地セミナーが名古屋市を会場に開催されますので、多くの企業に対して、本市への立地の優位性などを積極的にPRしてまいります。

高屋敷西地区については、造成工事が今年度内の完了に向けて順調に進んでおります。また、昨年、日本特殊陶業株式会社のグループ企業・株式会社NTKセラテック及び日揮ホールディングス株式会社のグループ企業・日本ファインセラミックス株式会社の立地が決定し、残りは1区画となっておりますが、この区画についても誘致に向けた熟度が高まり、交渉は最終段階に入っております。引き続き、地権者をはじめ関係機関と連携を図りながら、企業立地の実現に向けて取り組んでまいります。

### (2) 起業支援関連施策について

次に、起業支援関連施策について申し上げます。

第6期目となる富谷塾については、8月末時点で164名の方々が入塾し、とみぶら及び荷宿を拠点に起業創業・スタートアップに向けた取組を進めております。また、経済産業省主催の起業家育成・海外派遣プログラム「J-StarX」のコースとして、10月から起業家育成海外派遣事業が実施されます。本市では、起業創業を目指している塾生や、既に起業し更なる事業展開を計画している塾生などを対象に参加希望者を公募し、審査の結果、一般コース10名、上級コース2名の計12名がアメリカ・シリコンバレーに派遣されることが決定いたしました。

た。今回の海外派遣研修を通して、グローバルな起業マインドを身に付けていただき、将来の起業や今後の事業展開に向けた大きな一歩となることを期待するものです。

### (3) 農業関連施策について

次に農業関連施策について申し上げます。

米の生産については、稲の刈り取りが始まっておりますが、今年の作柄は「やや良」と見込まれております。今年も出荷に合わせて米の概算金が支払われるところですが、令和 5 年産米についての国の見通しでは、主食用米は生産調整により作付面積が前年よりも減少し、米価安定に適正とされる民間在庫量の水準も規定内の範囲となり、コロナ禍で低迷した業務用米の需要復調の傾向も踏まえると、需給の面では改善の方向にあるとのことであります。

しかしながら、米価下落前の価格に回復するという見通しとはならないこと、さらには、農業用資材の高騰や原油高騰の影響を受け、米づくりの環境は、引き続き、厳しい経営状況となっております。このような現状において、農業経営を継続していただくため、昨年度に引き続き、米価下落及び物価高騰に対する本市独自の支援を行うことといたしました。

つきましては、本定例会の補正予算に関連経費を計上しておりますので、ご審議の程、よろしく願いいたします。

市の特産品であるブルーベリーについては、猛暑の影響を受け、昨年よりも収穫量は減少となりましたが、生食用の販売においては、平年並みの出荷販売となり、多くの皆様に富谷の旬の味覚を楽しんでいただきました。今後も、ブルーベリーの産地拡大に努めてまいります。

新みやぎ農業協同組合富谷支店の移転に伴う「旧あさひな農協機械センター」跡地へのブルーベリー生産組合事務所の移転については、現在、10月上旬の営業開始に向け、改修工事等が行われております。本市といたしましても、引き続き、ブルーベリー生産組合の新たな事務所開設に係る支援を行ってまいります。

養蜂を開始してから 7 年目を迎えるとみやはちみつプロジェクト推進事業については、今年 8 月 3 日に開催された、最もおいしい蜂蜜を決定するコンテストである「第 6 回ハニー・オブ・ザ・イヤー」において、NPO 法人 SCR が出品し

た富谷産蜂蜜が「日本ミツバチ部門」で最優秀賞を受賞いたしました。また、とみやはちみつプロジェクト推進協議会が出品した、市役所屋上で採れた蜂蜜についても、「国産部門」でベストスリーに入る優秀賞を受賞するなど、いずれも非常に高い評価をいただき、本市の豊かな自然環境と富谷産蜂蜜を全国に発信する機会となりました。とみやはちみつプロジェクトの中心的な役割を担っていただいております NPO 法人 SCR の皆様、そして、ご協力いただいている市民の皆様のお取り組みに、心より感謝申し上げます。今後も、人と自然が共生する環境を守りながら、本プロジェクトを推進してまいります。

#### （４）観光・地域振興施策について

次に、観光・地域振興施策について申し上げます。

富谷宿観光交流ステーション・とみやどについては、9月10日に来場者延べ40万人を達成し、市内外から多くの皆様にご来場いただいております。今後も、本市の観光と交流の拠点として魅力あふれる企画運営を行ってまいります。

また、とみやどを中心としたしんまち地区を会場に、2日間にわたり賑わいのイベントを開催いたします。9月30日には、イタリアで開催されております世界最大級の食の祭典「テッラマードレ」の日本版「テッラマードレジャパン」の記念すべき第1回目が本市で開催されます。当日は、全国各地の美味しい食品を楽しんでいただけるほか、食に関する多彩なプログラムが用意されております。

10月1日には、恒例となりました「富谷宿街道まつり」を開催いたします。昨年よりも出店ブースなどの規模を拡大し、ステージイベントやパレードなどの内容も充実したものとなっております。また、当日は、「熊野神社例大祭」及び「GO!GO!ラリーin 東北」も同時開催されますので、是非多くの皆様にお越しいただき、秋のイベントを楽しんでいただきたいと考えております。

次に、「秋のとみやスイーツフェア」については、9月30日から10月15日までの16日間、市内スイーツ店13店舗の参加をいただき実施いたします。とみやはちみつやシャインマスカット、いちじく等の旬の素材を生かしたとみやスイーツを多くの皆様楽しんでいただき、「スイーツのまち とみや」のブランディング強化につなげてまいります。

#### (5) 道路関連施策について

次に、道路関連施策について申し上げます。

国の補助金を活用して整備を進めております「市道穀田三ノ関線道路改良工事」及び「市道三ノ関大崎線道路改良工事」については、事業最終年度の工事として、6月に請負契約を締結しており、全区間の完成に向け鋭意取り組んでおります。

#### (6) 土地利用関連施策について

次に、土地利用関連施策について申し上げます。

本市の将来像の確立に向けて、方針を定める都市計画マスタープラン地域別構想の策定にあたりましては、第1回ワークショップを7月22日及び8月5日の2日に分けて、4地域で開催いたしました。皆様からいただいたご意見を反映し、10月に第2回ワークショップを開催することとしております。

仙塩広域都市計画第8回定期見直しについては、本市の編入候補地として、住居系の明石台東二期地区、工業系の成田二期北地区及び日渡地区を、8月末に宮城県へ申し出いたしました。

#### (7) 住宅・公園・上下水道関連施策について

次に、住宅・公園・上下水道関連施策について申し上げます。

「(仮称)やすらぎパークとみや」については、9月13日に墓地使用の抽選会を行い、先日、当選された方々に使用者決定の通知を送付したところです。

整備工事も順調に進行しており、引き続き、墓地の12月開所を目指して準備を鋭意進めてまいります。

公園関係については、昨年度に策定した公園施設長寿命化計画に基づき、大亀山森林公園展望台改修工事に8月から着手し、来年2月の工事完了を目指して鋭意取り組んでまいります。

また、大亀山森林公園の持続的な魅力向上を目指すため、宮城大学とともに「森の公園ツリーハウスプロジェクト」を始動し、更なる魅力向上に努めてまいります。

水道事業については、供用開始から20年が経過した富谷第二配水池について、外壁の塗装修繕工事を実施しているほか、鷹乃杜・富ヶ丘地区の配水管の耐震化工事についても、年度内完成に向け順調に進めているところであります。今後も、

市民生活を支える基幹ライフライン施設の長寿命化対策に努め、安全で安心な水の安定供給に努めてまいります。

下水道事業については、国の交付金を活用し、老朽化した管渠調査に継続して取り組むとともに、ポンプ施設のストックマネジメント計画の見直しを実施することにより、下水道施設の老朽化対策を推進してまいります。

### 3. 「基本方針－2 教育と子育て環境を誇るまち」について

続きまして、「基本方針－2 教育と子育て環境を誇るまち」に関する主な施策について申し上げます。

#### (1) 教育・青少年健全育成関連施策について

はじめに、教育・青少年健全育成関連施策について申し上げます。

酷暑となった8月に続き暑さが厳しい中、市立小中学校においては、状況に応じた、熱中症などへの暑さ対策、並びに感染症対策を講じながら、安全・安心な教育環境の整備に努めてまいります。

次に、第7回中学生生徒会サミットを8月7日に開催いたしました。本サミットは、今年度より、子どもにやさしいまちづくりの実践ツールの一つとして位置付け、子どもたちの社会参画につながる具体的な実践・検証・改善を蓄積してまいります。初年度となる今回は、平成30年に策定した「富谷市子どもにやさしいまちづくり宣言」について、中学生の立場からの実感度や課題等を出し合い、それらの課題を解決するために自分たちができることや市への提案などをグループで討議・発表しました。

中学生生徒会サミットを通して、子どもたちの意見を積極的に取り入れるとともに、子どもたちが主体的に地域社会に参画できるまちづくりを進めてまいります。

#### (2) 教育・国際交流関連施策について

次に、教育・国際交流関連施策について申し上げます。

中学生海外研修派遣事業については、コロナ禍以降、4年ぶりに実施いたしました。台風の影響も心配されましたが、7月26日から29日までの3泊4日の行程を無事に終了することができました。参加した生徒たちは、台湾桃園市私立<sup>どうえんししりつ</sup>有得<sup>ゆうとく</sup>雙語<sup>じゅうご</sup>中<sup>ちゅう</sup>小<sup>しょう</sup>學<sup>がく</sup>の中学生との交流をはじめ、ホームビジットや自主研修な

ど、生きた外国語に直接触れ、異文化を感じる貴重な経験を通じて、大きな気づきや学びを得ることができました。

今後も将来の富谷を担うグローバルな人材の育成につながる事業を展開してまいります。

次に、市立富谷幼稚園については、入園状況等を検証しながら民営化の時期を検討してまいりました。近年の園児数・新入園児の減少を受けて、令和9年3月31日を閉園時期とし、当地には、令和10年度当初での認定こども園開園を目指して取組を進めてまいります。

次に、学校施設の防犯対策については、これまで防犯カメラの設置について検討を行ってまいりましたが、この度、国の補助金の前倒し活用が認められましたので、今年度中に防犯カメラ未設置の小学校6校への整備を図ることといたしました。

つきましては、本定例会の補正予算に関連経費を計上しておりますので、ご審議の程、よろしくお願いいたします。

### (3) 生涯学習関連施策について

次に、生涯学習関連施策について申し上げます。

富谷市民図書館等複合施設については、現在、実施設計を進めております。

第1回目の市民ワークショップを9月24日に開催し、市民の皆様から複合施設の使い方やサービスなどについてご意見をいただいたところです。今後、11月と来年1月にも開催を予定しております。引き続き、令和7年度の開館を目指して、整備を鋭意進めてまいります。

次に、公民館については、4年ぶりとなる公民館まつりを開催いたします。

10月14日の東向陽台公民館まつりを皮切りに、各館において感染防止対策を徹底しながら、サークルや地域の皆様にご参加いただき、ステージ発表や作品展示などを行ってまいります。

### (4) スポーツ・レクリエーション関連施策について

次に、スポーツ・レクリエーション関連施策について申し上げます。

現在整備を進めておりますパークゴルフ場については、管理棟の新築工事が行われており、管理棟に設置する備品購入のほか、パークゴルフ場の公認コースの認定申請など、引き続きオープンに向けた準備を鋭意進めてまいります。

つきましては、本定例会に関連条例の制定を上程、並びに補正予算に関連経費を計上しておりますので、ご審議の程、よろしく願いいたします。

#### (5) 芸術・文化関連施策について

次に、芸術・文化関連施策について申し上げます。

民俗ギャラリーについては、とみふらへの移転開館 5 周年記念として、富谷隕石展を 7 月 1 日から 9 月 3 日まで開催し、延べ 853 名の方が来場され、大変好評をいただいたところです。今後も継続的な歴史文化関連の取組を進めてまいります。

次に、今年度のとみやマーチングフェスティバルについては、コロナ禍前の規模に戻し、11 月 25 日の開催を予定しております。とみやマーチングエコーズをはじめ、市立小学校の金管バンド、鼓響とおのみや太鼓のほか、特別招待団体としまして、昨年開催された第 50 回マーチングバンド全国大会の一般の部において、日本一に輝いた創価ルネサンスバンガードの皆さんにご出演いただく予定としており、開催に向けて準備を進めております。

つきましては、本定例会の補正予算に関連経費を計上しておりますので、ご審議の程、よろしく願いいたします。

#### (6) 子育て関連施策について

次に、子育て関連施策について申し上げます。

子ども医療費については、私が就任以来、助成対象年齢を 18 歳年度末までに拡大し、所得制限を撤廃するなど、これまでも段階的に拡充を図ってまいりましたが、子育て世帯の更なる経済的負担軽減を図るため、10 月 1 日診療分から、一部負担金を廃止し、完全無償化を実施いたします。

新型コロナウイルス感染症は、いまだ感染者が多く、今後、季節性インフルエンザの流行の時期と重なることで、医療機関のひっ迫が予想されることから、昨年度に引き続き、任意予防接種である小児インフルエンザ予防接種の助成事業の実施を計画しております。また、併せておたふく風邪予防接種に対する費用助成も開始予定としております。

つきましては、本定例会の補正予算に関連経費を計上しておりますので、ご審議の程、よろしく願いいたします。

今後とも、「子どもにやさしいまちづくり」に関連した施策の充実に努めると

ともに、引き続き、将来的な安定財源の確保を含め国の動向を注視してまいります。

### 3. 「基本方針－3 元氣と温かい心で支えるまち」について

続きまして、「基本方針－3 元氣と温かい心で支えるまち」に関する主な施策について申し上げます。

#### (1) 高齢者支援関連施策について

はじめに、高齢者支援関連施策について申し上げます。

9月2日にイオンモール富谷において、市内3か所の地域包括支援センターが合同で、認知症に関する正しい理解と普及啓発を進めるためのイベントを初めて開催いたしました。当日は、認知症の当事者の方にもご講話いただき、当事者の声を身近な地域の皆さんに知っていただく大変貴重な機会となりました。引き続き、認知症の方とご家族が地域で安心して暮らせる地域づくりを目指してまいります。

#### (2) 健康・保健関連施策について

次に、健康・保健関連施策について申し上げます。

新型コロナワクチン接種については、「令和5年秋接種」が、9月20日より、医療機関における個別接種体制にてスタートしております。今後も、接種を希望される方が安心して接種できるよう、引き続き体制維持に努めてまいります。

健康づくりの推進については、次期富谷市健康推進計画策定にあたって、市民2,000名を対象にアンケートを実施いたします。

また、がん治療に伴う外見の変化に対する悩みを軽減するための支援として、乳房補正具購入費用の一部助成の実施を予定しております。

つきましては、本定例会の補正予算に関連経費を計上しておりますので、ご審議の程、よろしくお願いいたします。

#### (3) 医療関連施策について

次に、医療関連施策について申し上げます。

宮城県が推進する仙台医療圏4病院再編にあたっては、引き続き、県や設置者等の協議の進展状況を注視しながら、東北労災病院と県立精神医療センター

を合築する新病院の本市への誘致実現に向けて取り組んでまいります。

国民健康保険については、10月1日から利用可能な保険証を9月13日に発送しておりますが、マイナンバーカードの保険証利用についても、引き続き丁寧な説明に努めてまいります。

#### (4) 障がい者・高齢者支援関連施策について

次に、障がい者・高齢者支援関連施策について申し上げます。

外出支援乗車証「とみぱす」については、10月2日より各出張所での入金申請受付が開始されますので、引き続き、関係部署が連携を図りながら、受付体制の充実と更なる利便性の向上に鋭意努めてまいります。

現在策定中の第7期障がい福祉計画において、国から示された基本指針の中にある「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築」に向け、9月6日に保健福祉部の専門職による検討会を実施いたしました。今後も、県や関係機関との役割分担・連携のもと、精神障害の有無や程度にかかわらず、誰もが安心して自分らしく暮らすことができるよう、医療、福祉・介護、住まい、社会参加の確保や市民への普及啓発など、本市における「にも包括」の構築を着実に推進してまいります。

#### 4. 「基本方針－4 市民の思いを協働でつくるまち」について

続きまして、「基本方針－4 市民の思いを協働でつくるまち」に関する主な施策について申し上げます。

##### (1) 防災・救急・消防関連施策について

はじめに、防災・救急・消防関連施策について申し上げます。

防災関連については、10月29日に、富谷市総合防災訓練を予定しております。

今回の訓練は、富谷スポーツセンターを会場に避難所設営及び要配慮者等の避難誘導訓練を行う予定としております。

消防関連については、11月9日から始まる秋の火災予防運動に先立ち、11月5日に秋の火災予防運動開始式を開催し、消防団車両による巡回・広報活動を行い、火災防止を呼びかけてまいります。

## (2) 防犯・交通安全・消費者保護関連施策について

次に、防犯・交通安全・消費者保護関連施策について申し上げます。

防犯関連については、昨年度に引き続き、各中学校区に1台ずつ防犯カメラを設置いたします。6年目となる今年度は、来年2月中に設置を完了する予定としております。

交通安全関連については、9月21日から30日までの10日間にわたり、秋の交通安全県民総ぐるみ運動が展開されております。

本市においても、9月21日に富谷市出動式を挙行し、交通安全意識の普及を図りながら交通事故防止に向けた取組を推進することとしております。

また、6月10日に交通死亡事故ゼロ4年、1,461日を達成し、死亡事故ゼロの最長記録を更新してはりましたが、6月25日に市内で死亡事故が発生いたしました。亡くなられた方のご冥福を心からお祈りするとともに、今後は本市から痛ましい死亡事故を無くすべく、皆様方のお力添えをいただきますようお願い申し上げます。

消費者保護関連施策については、これまでの電話・ファックス、対面相談に加えて、デジタル化を推進するための国の補助事業を活用し、8月から新たにインターネット相談を開始いたしました。今後も多様な手法により消費者トラブル解決に取り組んでまいります。

## (3) 省エネルギー・自然エネルギー関連施策について

次に、省エネルギー・再生可能エネルギー関連施策について申し上げます。

現在、公共施設や市内各地域でのゼロカーボンに向けた取組の指針となる、地球温暖化対策実行計画の策定を進める中、6月30日に庁内組織として、「富谷市地球温暖化対策委員会」を設置いたしました。引き続きゼロカーボンシティの実現に向け、全庁的に取り組んでまいります。

市民への啓発事業では、8月19日、イオンモール富谷を会場に、「水素燃料電池バス（FCバス）展示会」を開催し、当日は260名を超える多くの来場者でにぎわいました。また、同日に開催いたしました「親子エネルギー環境教室」にも多くの方々にご参加いただき、ゼロカーボンシティ実現に向けた機運醸成、環境意識の向上に繋げることができました。

8月29日、環境省は「脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動」

の愛称である「デコ活」を宣言し、官民連携の全国運動をスタートしました。

本市においても同宣言の趣旨に賛同し、「富谷市デコ活」を宣言しました。今後もゼロカーボンシティの実現に向け「デコ活」を実践し、当該趣旨の市民啓発に努めてまいります。

#### (4) 市民参加・協働関連施策について

次に、市民参加・協働関連施策について申し上げます。

小学生を対象とした「とみやわくわく子どもミーティング」については、昨年度と同じく「子どもにやさしいまちづくり」をテーマに、11月20日の世界子どもの日に開催する予定で準備を進めてまいります。

また、町内会同士の情報共有や結びつきを深め、活動の活性化を支援する「富谷市町内会交流会」を、全町内会を対象として、11月下旬に開催する予定で準備を進めております。町内会離れなど、町内会が抱える課題の解決につなげていくことを目的としており、より多くの方々にご参加いただける機会となるよう、オンライン配信も併せて実施することとしております。

広報・広聴事業について申し上げます。

広く市民の方へ市政情報をお届けするため、視覚障がい者等に配慮した「広報とみやの音声版」を広報とみや10月号から実施いたします。視覚障害1級から3級の障害者手帳をお持ちの方を対象に、意向調査により音声版を希望される方へ送付することとしております。また、広報とみやの音声情報は、市公式ホームページや 유튜브へ掲載するとともに、各公民館図書室にてCDを貸し出しする準備を進めており、多様な媒体による情報提供を行ってまいります。

次に、全庁横断的な組織として設置いたしました市職員による広報戦略プロジェクトの2年目の取組において、市職員の広報マインド向上を目的とした研修会を9月5日に開催し、全部署の職員56名が参加いたしました。引き続き、広報マインド醸成を図り、本市の情報発信を更に強化してまいります。

#### (5) 行財政経営関連施策について

次に、行財政経営関連施策について申し上げます。

昨年度に引き続き、宮城大学との連携事業として実施しております「人生学

とみやプレミアムスクール」については、7月15日に、キックオフイベントとして市役所市民交流ホールを会場に、ノンフィクション作家 島村菜津氏を講師として、「食と生活」をテーマとした基調講演を開催いたしました。

さらに、8月8日には入校式と第1回目の講義を、9月19日には第2回目の講義を開催したところです。今後は、12月の最終考察まで計3回の講義を開催し、スクール生自身と本市の未来について、一緒に考察を深めてまいります。

マイナンバーカードについては、8月末現在、43,750人の申請をいただき、申請率は83.5パーセントとなり、42,218人にカードを交付し、交付率は80.6パーセントとなっており、申請率、交付率ともに県内市においては最も高くなっております。

今後も様々な制度との情報連携が増えることを踏まえ、マイナンバーカードの利便性、安全性を周知し、更なる普及促進に努めてまいります。

令和5年富谷市功労者表彰式については、11月3日の文化の日に開催を予定しております。多年にわたり富谷の発展に寄与されました功労者の方々に對し、これまでのご尽力とご功績に感謝の意を込めて表彰いたしますので、議会の皆様をはじめ、ご来賓の皆様とともに、功労者の方々をお祝いしたいと存じますので、よろしくお願ひ申し上げます。

市制施行7周年記念事業について申し上げます。

市制施行を記念した花火プロジェクトについては、今年も10月10日に打ち上げを予定しております。市制施行7周年となる今年度も、市民の皆様へ元気を届ける花火になればと考えております。

今年度についても、商工会等と連携協力を図り、市内企業等へ協賛金を募ってまいります。現在の経済情勢を鑑み、市としても必要経費を支出する形式を予定しております。

つきましては、本定例会の補正予算に関連経費を計上しておりますので、ご審議の程、よろしくお願ひいたします。

以上、令和5年第3回富谷市議会定例会の開会にあたりましての挨拶とさせていただきます。

